

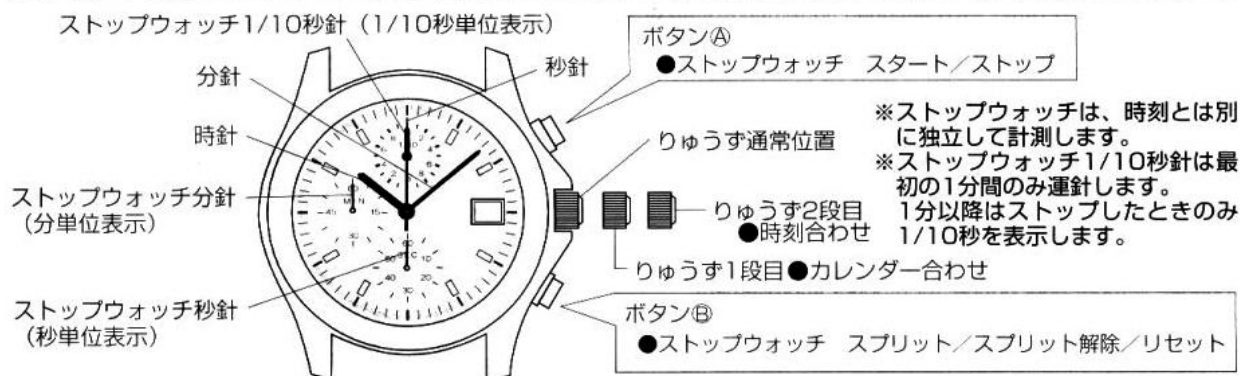
取扱説明書 787型 完成品

[1] 特 徴

通常の時・分・秒の他に 1/10秒計測ストップウォッチを備えたアナログクォーツ時計です。

[2] 機能説明

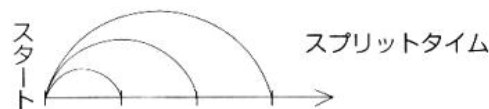
各部の名称とはたらき



●ストップウォッチ

1/10秒単位の計測ができる60分計です。また、スプリットタイムも計測できます。

※スプリットタイムとは、スタートからある区間までの途中経過時間をさします。



時刻の合わせ方

※時刻を合わせるときは、かならずストップウォッチを止めてからおこなってください。

時刻合わせの前に、ストップウォッチ1/10秒・秒・分針が0位置(12時位置)に合っているか確認してください。

ストップウォッチ1/10秒・秒・分針の0位置確認と合わせかた

時刻合わせの前に、ストップウォッチ1/10秒・秒・分針が0位置(12時位置)に合っているか確認してください。

※ストップウォッチが計測中のときは、次のボタンを押してリセットしてから0位置確認をしてください。

(詳しくは“ストップウォッチの使いかた”の項をご参照ください。)

- ・針が動いている状態 : ボタンA→B
- ・ストップ状態 : ボタンB
- ・スプリット状態 : ボタンB→A→B

●ストップウォッチ1/10秒・秒・分針が0位置からずれているときは、次の手順にそって合わせてください。



①りゅうずを2段引きます。②ボタンAまたはBを押してストップウォッチ

- 1/10秒・秒・分針を0位置へ合わせます。
- ・ボタンAでストップウォッチ1/10秒針を合わせます。
- ・ボタンBでストップウォッチ秒針・分針を合わせます。

※ストップウォッチ分針は、ストップウォッチ秒針の動きに合わせて回ります。
※早送り修正するときは、ボタンを押し続けます。

時刻の合わせ方

※時刻を合わせるときは、かならずストップウォッチを止めてからおこなってください。



※りゅうずが引き出せない。
(ねじロック式りゅうず)
モデルは、りゅうずを左に回してねじをゆるめ、りゅうずを1段引きます。
※この時計のりゅうずは2段引くことができます

※月末の日付修正について
2月(1ヶ月が28日、うるう年は29日)と小の月(1ヶ月が30日)では、月末または翌月の1日に、日付の修正が必要になりますので日付を合わせてください。

※秒針は12時の位置に止めてください。
1.1段目(日付合わせ)
2.2段目(時刻合わせ)
※ボタンを押すとストップウォッチ秒針がずれますのでご注意ください。
(詳しくは“ストップウォッチ針の0位置確認と合わせかた”の項を参照ください。)

※ねじロック式りゅうずのモデルは、りゅうずを押しつけながら右に止まるところまでねじ込んでください。
※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL 117が便利です。

※午後9時～午前1時までには日付を合わせないでください。

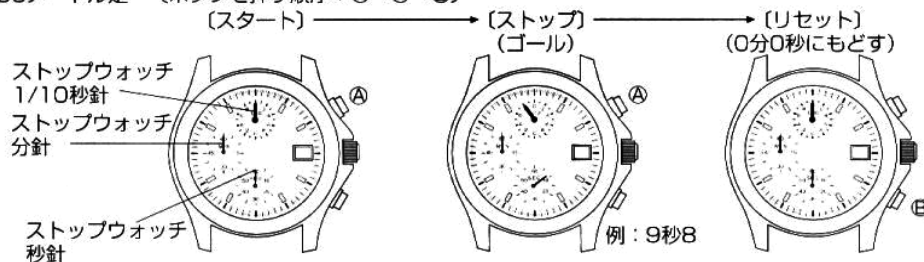
この時間帯に日付を合わせますと、翌日になっても日付が変わらないことがありますので、この時間外に針を動かしてから日付を合わせてください。

ストップウォッチの使い方

- ストップウォッチは、時刻とは別に独立して計測します。
- 1/10秒単位の計測ができる60分計です。

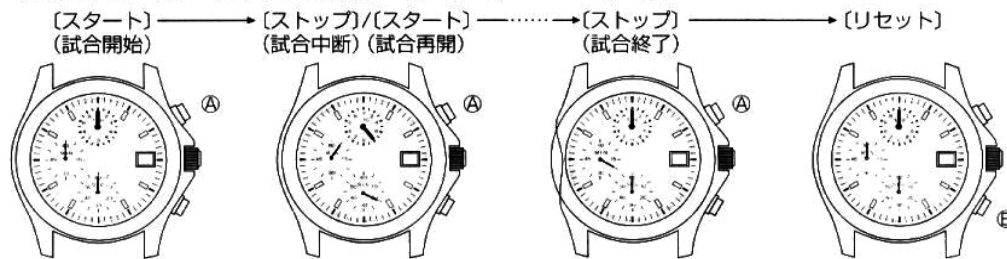
【普通のつかいかた】

例：100メートル走 (ボタンを押す順序：A→A→B)



【時間計測を積算でおこなうとき】

例：バスケットボール (ボタンを押す順序：A→A/A→A→B)



※途中のスタート/ストップは、何回でも繰り返すことができます。

【スプリット計測をおこなうとき】

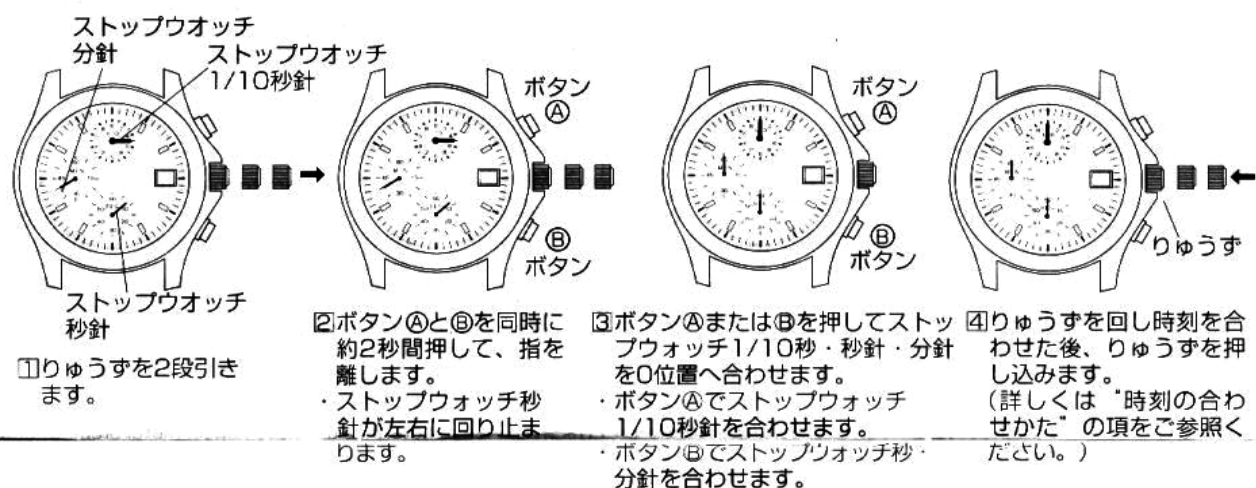
例：5000メートル走 (ボタンを押す順序：A→B/B→A→B)



※途中のスプリット/スプリット解除は、何回でも繰り返すことができます。

■ システムリセットについて

電池を交換した後は、時計内のICメモリー情報とストップウォッチ1/10秒・秒・分針の表示位置が一致しくなりますので、次の手順にそって合わせてください。また、ストップウォッチが正常にはたらかないなど異常がみられたときも、同様に行ってください。



※ストップウォッチ分針は、ストップウォッチ秒針の動きに合わせて回ります。

※早送り修正をするときは、ボタンを押し続けます。